

### [動植物]

本圏域は山林が大半を占め、様々な野生動植物が生息・生育・繁殖しており、ニホンカモシカ、ツキノワグマ、ニホンジカ、ニホンザル、イノシシなどの大型哺乳類の生息が確認されている。また、圏域内は標高差があるため、様々な植物が自生している。山林はスギ・ヒノキ等の人工林と、クヌギ・コナラ等の二次林となっている。鳴神山には、カッコソウ自生地があり、自然保護団体や地元住民等の協力により保全活動が行われている。

### [人口・産業]

圏域の近年における人口は約7割が桐生市、約3割がみどり市となっている。桐生市の人口は年々減少する傾向にあるが、みどり市は穏やかな増加傾向を示している。

圏域内の産業については、第三次産業の比率が他産業に比べ高い割合を示している。

なお、農地については減少傾向にあり、現状以上の水量確保といった水利用の大きな変化はないものと考えられる。

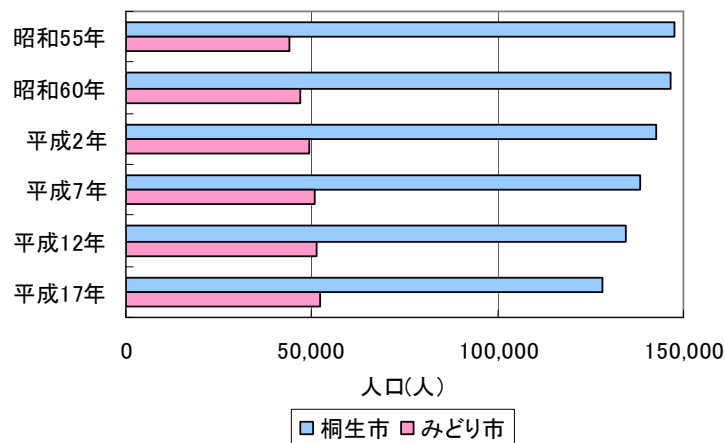
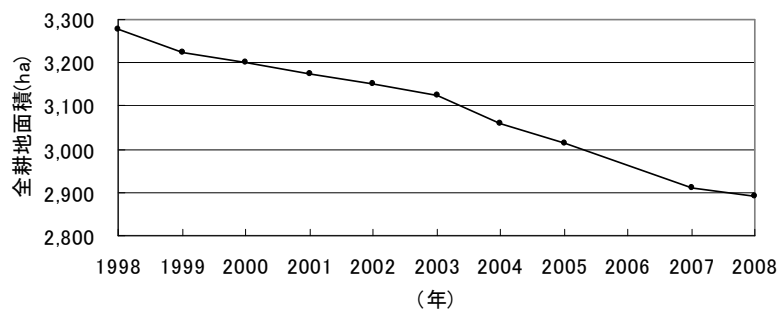


図-1.2 渡良瀬川圏域内人口の推移



出典：群馬県統計情報システム 基盤整備率（耕地面積）市町村集計表

図-1.3 渡良瀬川圏域全耕地面積推移図